

BUSINESS SCHOOL

2019

— 講義と自社課題探究の同時進行で構想力・遂行力を高める —

■開催概要

開催 期間	開講日 2019年8月17日(土) 修了日 2020年2月15日(土) 原則隔週土曜日 9:30~17:30 ※一部別時間帯。詳細はスケジュール参照	対象者	上場企業(もしくはそれに準ずる企業) の部長・副部长・次長クラス
	会場	東京校・大阪校 弊社セミナー室 ※東京校・大阪校間の振替受講も可能	定員
			参加費

■お申込み注意事項

- 【定員】東京校・大阪校 各校20名程度
- 【振替受講】各開催日にやむなく欠席される場合には、事前にお知らせ頂ければ、東京受講生が大阪会場に参加したり、その逆での参加も可能です。
- 【その他】講座運営に支障が生じると判断される場合には、ご参加をお断りする場合がございますので、予めご了承ください。記載内容は2019年1月時点のものです。今後変更となる可能性がございます。ご不明な点は下記お問合せ先までご照会ください。

会場・お問合せ先 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 人財開発事業部

東京校 担当:伊藤・棚網

〒105-8501
東京都港区虎ノ門5-11-2
オランダヒルズ森タワー24F

TEL : 03-6733-1059
FAX : 03-6733-1067
Eメール : bizs@murc.jp

●東京メトロ日比谷線「神谷町駅」1番出口より徒歩2分

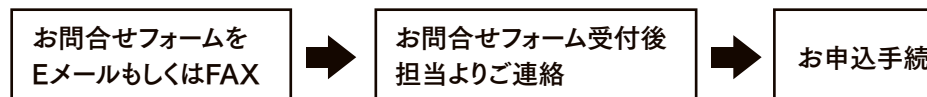
大阪校 担当:三好・高野・古谷

〒530-8213
大阪市北区梅田2-5-25
ハービスOSAKAオフィスタワー19F

TEL : 06-7637-1410
FAX : 06-7637-1409
Eメール : bizs-osk@murc.jp

●JR「大阪駅」桜橋口より徒歩約6分
●阪神「梅田駅」西改札より徒歩約6分
●地下鉄四つ橋線「西梅田駅」北改札より徒歩約6分

■お問合せから、お申込みまでの流れ



2019年度「ビジネススクール」お問合せフォーム

■ご関心のある方は以下のフォームにご記入の上、EメールもしくはFAXでご送付願います。

貴社名		代表者 氏名		業種	
ご住所	〒 -			電話	()
				FAX	()
ご担当者 氏名		所 属 職		三菱UFJ銀行 お取引支社	支社

- ご記入いただきました個人情報は、当社の「個人情報保護方針」及び「個人情報の取り扱いについて」(https://www.murc.jp/corporate/privacy)に従って適切に取り扱います。
- ご記入いただきました個人情報は、本講座の連絡および、当社セミナー・サービス等のご案内のために利用させていただきます。また、利用目的の範囲内において、当社以外の第三者に個人情報の取り扱いを委託することがあります。
- ご記入内容について、内容確認のご連絡をさせて頂くことがあります。
- お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他お問い合わせにつきましては、上記お問合せ先までご連絡ください。
- 反社会的勢力と判明した場合には、本講座へのご参加をお断り致します。
- 諸事情を考慮のうえ、本講座へのご参加をお断りさせて頂くことがあります。



2019年度 ビジネススクール

講義と自社課題探究の同時進行 経営課題の克服に向けて
構想力・洞察力・遂行力を高める 次世代幹部育成スクール

スクールの 特徴

知的研鑽の場

- ケーススタディーによるグループワークを実施、共通の課題について議論・意見交換し、経営戦略構想力・課題解決力を高めていただく、知的研鑽の場
- リベラルアーツ系講義も開催、高い視座と広い視野を養います

メンター制度による経営課題の深掘り(自社課題探究)

- 自社の課題探究では、自社の経営課題の具体的な解決策をまとめたレポートを作成
- レポートの作成にあたっては、経験豊富なメンターが指導・アドバイス(合計4回の個別指導を実施)
- メンター向け最終プレゼンテーション実施後、メンターからの講評を会社と受講生にフィードバック
- 面談日以外でも、スクール会期中はメンターとのメール相談も可能

人的ネットワークの構築

- 受講生は、上場企業の部長、副部長、次長クラスが中心
- 開講式・合宿(1泊2日、於大阪市内)・修了式は東西合同開催。交流を深めていただきます
- 1998年に開講し、これまで累計962名の方に参加いただきました

基本 講義

MBA系知識習得	経営的視座と俯瞰力強化
競争戦略	コーポレートガバナンス
マーケティング戦略	コーポレートブランド経営
財務戦略	経営改革とリーダーシップ
コーポレートファイナンス	事業リスクマネジメント
組織人事戦略I (人材マネジメント)	AI時代のイノベーション発想法
組織人事戦略II (グローバルリーダーシップ)	AIの進化とリベラルアーツの重要性

講義と企業研究の同時進行で
構想力・遂行力を高める

実践 自社課題探究

目的
講義で培った知見を自社の課題解決に向けて、深掘りしていきます

指導
<ul style="list-style-type: none"> ■ メンターによる作成指導 約50分/人、合計4回 ■ 受講生6~7名につきメンター1名が担当 ■ スクール期間中、個別指導も実施 ■ レポートへのメンター講評もフィードバック

基本 講義

主任講師



一橋大学CFO教育研究センターセンター長 特任教授
伊藤 邦雄氏

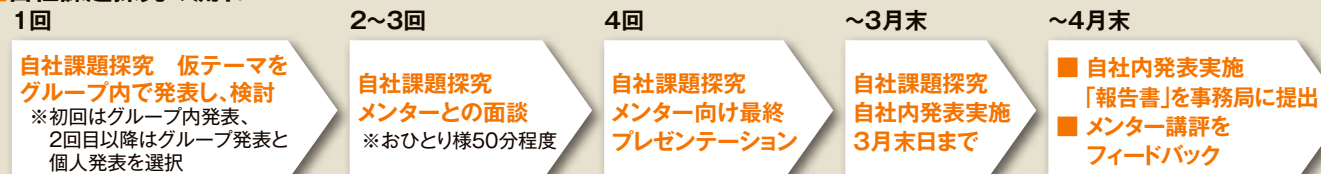
講義風景



1951年、千葉県生まれ。1980年3月一橋大学大学院博士課程修了、2015年4月より現職。セブン・アンド・アイ・ホールディングス、東レ、小林製薬など数多くの社外取締役を兼任。日本ベンチャー学会元会長、日本会計研究学会前会長、日本取締役協会「ガバナンス・オブザ・イヤー」選考委員会委員等の役職も多数。著書に「危機を超える経営」、「新・企業価値評価」、「新・現代会計入門」第3版、「次世代リーダー育成塾 経営の作法」(共編著、以上 日本経済新聞出版社)など多数。

実践 自社課題探究

■ 自社課題探究の流れ



■ 自社課題探究 これまでの研究テーマ

分野	業種	研究テーマ
経営戦略	製造業	M&Aによる事業拡大(その方法と組織運営について)
	サービス業	有効な経営目標としての「中期経営計画のあり方」について
マーケティング戦略	製造業	コーポレートブランド向上の施策
	サービス業	販売チャネルの脆弱性を踏まえた今後の方向性の検討
組織・人事戦略	製造業	企業価値を向上させる人材育成について
	サービス業	新規事業開発に向けたグループ組織戦略とイノベーションの創出

■ 自社課題探究指導メンター



横浜市立大学 国際総合科学部 学部長 教授
中條 祐介氏

ミドルマネジメントとして経験を積まれた皆さんが、ミドルを超えた存在となるためには、経営知識を使える知恵へ展開する作業が不可欠です。この作業が自社課題探究でありメンターとしてサポートさせていただきます。



一橋大学 大学院 経営管理研究科 准教授
野間 幹晴氏

マネージャーからリーダーへ自己革新するため、社内外に公私を融合したネットワークを構築するため、自社は日本企業の競争力に磨きをかけるために、深く広く議論しましょう。一緒にできることを楽しみにしています。



慶應義塾大学 大学院政策メディア研究科 特任教授
株式会社横田アソシエイツ 代表取締役
横田 浩一氏

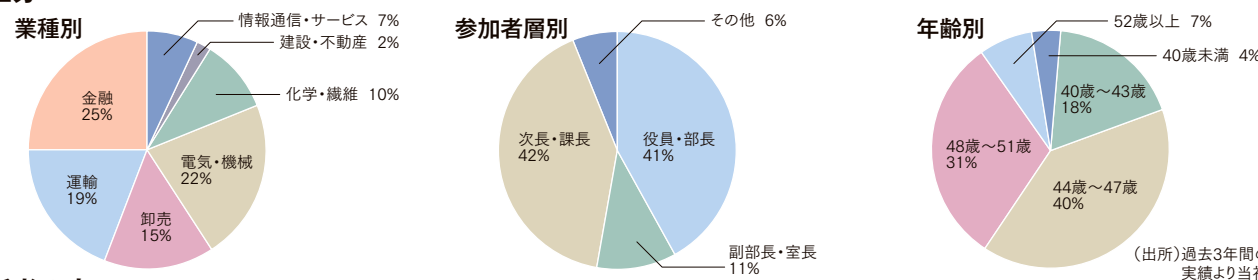
自社の経営課題、戦略を改めて考えることで、日頃悩んでいたことについて俯瞰的に捉え、少し高い視点から仕事をするようになることができます。共に議論し、いい答えを出せたらと考えています。

略歴
一橋大学大学院博士後期課程単位修得退学後、横浜市立大学専任講師、助教授、教授を経て、2014年4月より国際総合科学部学部長。日本会計研究学会理事、日本IF学会副会長。この間、東証、財務会計基準機構、総務省などで制度設計にかかわる一方、公認会計士試験、日本証券アナリスト検定試験の試験委員を歴任。著書に「連結会計とグループ経営」、「会計学の手法」(ともに中央経済社)など。

略歴
一橋大学商学研究科博士後期課程修了、博士(商学)取得。横浜市立大学商学部を経て、2004年より一橋大学大学院国際企業戦略研究科助教授、2007年より同准教授、2018年より現職。2010年から2011年までコロンビア大学ビジネススクールフルタイム研究員、バンダイナムコホールディングス社外取締役、経済産業省「企業報告ラボ」座長。著書に「コーポレート・ファイナンス入門」(共著、共立出版)、「日本企業のバリエーション」(共著、中央経済社)など多数。

略歴
早稲田大学卒業。日本経済新聞社を経て2011年より横田アソシエイツ代表取締役、流通科学大学特任教授を経て2015年より慶應義塾大学特任教授、企業のブランディング、マーケティング、イノベーション、HRなどのコンサルティングや社員教育と共に、地方創生に携わる。共著に「明日はビジョンで拓かれる」長期経営計画とマーケティング「愛される会社の作り方」『ソーシャル・インパクト〜CSV(価値共有)が企業・ビジネス・働き方を変える』『デジタル・ワークシフト マーケティングを変えるキーワード30』など多数。

■ 受講生区分



■ 派遣責任者の声

- ビジネススクールには部長クラスを中心に若手の次世代幹部候補を参加させています。自らの課題を再認識する良い機会であり、グループワークを通じて参加者の方と交流を深めることも出来ます。同じ研修を継続的に受講することで社内共通の考え方や認識が醸成できればと期待しています。(A社)
- 受講者が経営リーダーとしての視野を広げること、異業種交流ならではの気づきを得ることを目的として参加しています。他社のトップ人材と研鑽しながら自社研究を深めていくため、非常にタフな内容ですが、受講者にとっては、あらためて自分らしいリーダーシップとは何かを見つめなおす貴重な機会となっています。(C社)
- ビジネス環境が変化していく中、次世代リーダー育成は重要な課題であり、経営戦略面での中核的存在となる人材育成が必要です。本スクールは、自社課題・戦略を具体的に探究し、メンターのサポートを通じて高度なスキル向上に繋がると確信しています。また、異業種交流をすることで多くのことを学べる場と考えてます。(B社)
- 当社では2004年度より毎年、経営幹部候補を複数名派遣し、経営戦略構築力及び課題解決力向上の他、マネジメント能力を研鑽する機会としています。受講生からは、議論を通じてOUTPUTを出すプロセスが勉強になった、研究を通じて様々な分析・アイデアを共有できた、異業種の新たな仲間と生涯にわたる絆を築くことが出来た、等の感想を受けています。多くの受講生が経営層となり期待通りの成果に繋がっています。(D社)

■ 受講生の声

- 様々な業界から集まる受講生との討議やグループワーク、自社課題探究を通じて自社の置かれた環境や今後やるべき課題につき全体を俯瞰しながら見つめ直す事が出来た。本スクールで学んだ考え方や手法、判断基準は、いわば経営思考・判断の貴重な疑似体験であり、ビジネスで様々な判断が求められる際の大きな指針となっている。(E社)
- 本スクールで学んだ考え方・知識・手法は、各講座を受講後その週内に必ず一つ、自身や部門で試してみた。そのままでは分りにくい考え方・手法でも、レベル・対象・範囲をアレンジして実践することにより、自身や周囲の理解を深めたり、すぐに実践で成果を出せたりもした。これからも、色々アレンジして自社や自身の変革に活かしていきたい。(F社)

■ 2018年度参加企業実績

岩谷産業(株)、岩崎通信機(株)、SGホールディングス(株)、京都機械工具(株)、クオリカ(株)、サンワテクノス(株)、(株)島精機製作所、積水ハウス(株)、双日(株)、象印マホービン(株)、(株)高島屋、帝人フロンティア(株)、東京海上日動火災保険(株)、東洋電機製造(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急阪神ホールディングス(株)、日立造船(株)、丸全昭和運輸(株)、三菱UFJニコス(株)、(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJリース(株)、(株)メタルワン、ユニチカ(株)